

## 教 7 呼吸管理における Total Quality Management

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院  
宮下多美子

Total Quality Management について阿部は とは、行われなければいけないことを理解し、行うことであり、第 1 に問題を予防することである。これは終わりのないプロセスであり、その成果にも必ず改良の余地があるという考えである。呼吸管理における TQM は、チームが消費者の反応するサービスそのもの（呼吸管理の臨床実践）に焦点を当てる。臨床では高齢者の構成率は年々高まり、鈴木らは肺炎<sup>2)</sup>を合併する原因には ADL・痴呆などが強く関与し、かつ疾病・状態に強く関連する調査結果を示した。

### 1. 肺炎<sup>3)</sup>

*Community-Acquired Pneumonia*  
(CAP)

- ・地域での誤嚥（市中肺炎）

*Hospital-Acquired Pneumonia*  
(HAP)

- ・老人であるリスクは高い
- ・入院後 48 時間で引き起こす院内感染
- ・感染した場合 5.8 日入院が延長する
- ・続発する尿路感染（米国死亡率 33%）

*Ventilator-associated Pneumonia*  
(VAP)

- ・人工換気の挿管ユーブ周囲の細菌群
- ・宿主の免疫能の低下
- ・エロゾルの細菌の散布
- ・菌種は日和見菌

### 2. 戦略的予防（肺炎）：ADL と誤嚥

離床（抗重力姿勢：生活動作の維持拡大）

免疫（5 日前後の腸管からの栄養法）  
安全な食事介助（介護法指導）

- ・患者には 30 度 back rest position を整える
- ・看護婦は、椅子に座って食事を口に運ぶ
- ・集注力低下時は食物を口腔内に残さない

### まとめ（権限委譲）

- ①TQM は資格をもつ者に対する義務
- ②法的な要求
- ③質の向上による医療ミスリスクを下げる。